

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	社会体育団体育成事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 6 項 2 目	事業番号	5050	所属長名	岡市裕二
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	堀内和美	
法令根拠等	スポーツ基本法、社会教育法、教育基本法、伊予市体育関係団体活動補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興						
事業の対象	伊予市スポーツ協会	事業の目的		伊予市スポーツ協会競技団体、地域団体、スポーツ少年団の活動を支援することで、スポーツの振興、市民の健康増進と体力向上、さらには、地域との連携強化を推進する。			
事業の内容 (整備内容)	伊予市スポーツ協会に加盟する競技団体、地域団体、スポーツ少年団への補助金支給 伊予市スポーツ協会主催事業		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	3,355	3,643	0	0	0	3,643	活動補助・助成団体数	団体	32	31	32	32
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	主催事業数	事業	0	3	0	2
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	3,355	3,643	0	0	0	3,643						
職員の人工(にんく)数	0.52	0.35				0.35						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	7,432	6,371				6,371						
主な実施主体			実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
					4,123	4,123	4,123	4,123	4,123	20,615		
成果指標	指標	主催事業への参加人数	単位	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度		
			人		目標	0	950	360	360			
	指標設定の考え方	健康増進、体力向上、地域連携のため、多くの人に参加してもらえる事業を実施する			実績	0	358					
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		ビーチバレーHIMEカップをはじめ各種大会が開催できるようになってきている。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	愛媛新聞社主催の愛媛駅伝の予選会を実施しないとの連絡を受け、クリテリウム駅伝の次年度以降の開催について、理事会で協議をすすめることができた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が					
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 生涯スポーツの推進及び普及を行うため、スポーツ協会への補助は継続して必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が						
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	5~7 : C 3~4 : D						
所属長の課題認識	少年高齢化により、これまでどおりのスポーツ協会加盟団体の活動が困難となっており、活動継続について団体と検討を行う必要がある。										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 新規団体の育成に力を入れるべきではあるが、登録団体の中にも活動が停滞している加盟者が増えてきていることから、少子高齢化社会での活動の在り方自体を検討する必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		